



お茶会

3月3日(土) 10時～14時

おひなさまを觀賞しながら、
点茶のおもてなしをお楽しみください

2月1日(木)～4月1日(日)

郷土博物館 おひなさま展

問 郷土博物館 ☎48-2119

郷土博物館利用案内
入館料
一般 300円
高校・大学生 200円
小・中学生 100円

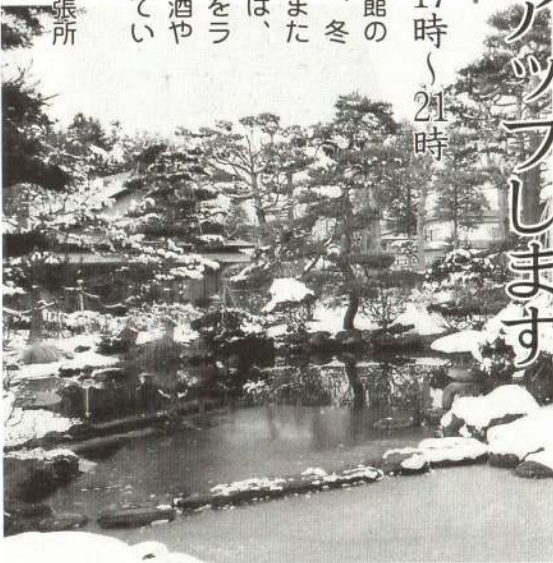
開館時間
9時～16時30分
休館日 毎週月曜日

鳥潟会館をライトアップします

2月26日(月)～3月4日(日) 17時～21時

東北有数の文化遺産として知られる鳥潟会館の情緒豊かな庭園。ここは四季を通じて美しく、冬の白い雪に染められた庭園は春夏の庭園とはまた違った素晴らしさがあります。郷土博物館では、おひなさま展の協賛イベントとして鳥潟会館をライトアップします。入場は無料、期間中は甘酒やみかんを用意して皆さんのお越しをお待ちしています。

※車でおいでの場合は、鳥潟会館前旧花岡出張所駐車場をご利用ください。



大館は文化財の宝庫です

市長リポート

No. 222

文化財は、後世に受け継いでいかなければならない貴重なものであり、歴史を解き明かす重要な資料でもあります。このため、文化財保護法によって大切に保護されています。また、火災などの災害から文化財を守るため一月二十六日を文化財防火デーと定め、全国で一斉に防災設備の点検や消火訓練が行われています。これはちょうど五十二年前のこの日、現存する木造建築としては世界最古の法隆寺の金堂が炎上し、貴重な壁画が焼損してしまったためです。一月、二月は、乾燥し火災の多い時期でもあることから、市でも北鹿ハリストス正教会聖堂と八幡神社で消防設備の点検などを行いました。

ところで、大館には文化財が非常に数多くあります。例えば、八幡神社や長走風穴高山植物群落、芝谷地湿原植物群落や秋田犬、ザリガ二南限生息地などは国の文化財に指定されています。このほか、県や市が指定する文化財、まだ確認・調査されていないものなど枚挙にいとまがありません。さらに、指定を受けてはいなくても価値が高いと評判のものや、自分で大切にしているといった個人レベルのものももちろんあるでしょう。

歴史のパラドックスという言葉があります。時を経れば経るほど、昔のことはぼやけて分かりにくくなってしまふのではなく、逆に歴史が明らかにされていきます。一見すると矛盾しているようですが、科学などの発達がこの逆説を生み出しました。歴史に対する理解が深まっていくことで、はじめて文化財の価値を知ることが出来ます。でも、せっかくの文化財もそれが多くの目に触れないことには宝の持ち腐れというものです。大館の貴重な財産を、これからも大切に保全し活用していくために、もっと文化財に親しみが持てる環境づくりを進めていきたいと思えます。

小畑 元